

代議員総会 四回生生活動報告書

作成：丸岡 翔

報告書目録

- 四回代議員の活動趣旨について
- 運営体制について
- 現況報告
- 今年度卒業制作展テーマについて
- 2011 年度卒業制作展関連イベント告知
- 今後の予定

四回代議員の活動趣旨について

四回生代議員は 2011 年度卒業制作/修了制作展（以下、卒業制作展）の運営を主な活動とし、各学科の意見を取り入れながら、イベントの運営・展示空間のしつらえのプランニング・広報活動などのプログラム段階から、実際制作にいたるまでのデザイン・設計書作り・制作を行う。

運営体制について

- ・ 卒展運営チーム：
 - ・ 各学科代表一名（学科により二名の場合あり）を選出し計 12 人で組織学科ごとに挙げられた意見を持ち寄り、議題の決定権を持つ。
 - ・ 卒展委員会から上がった要望（目的）に対して、具体的なアイデア出し、運営、着地まで行う。
- ・ 部署：
 - 卒業制作展の運営を主に、企画・制作・広報の三部所で行う。各コース代議員はいずれかの部署に所属し、活動する。

企画部署： リーダー こども芸術学科 福重

内容

- 展覧会に関わる人をつなぎ、展覧会場全体の空間と時間をつなぐ仕掛けを考えます。
- 卒展に関わる会期までと会期中のイベント・ハプニング等企画の立案。内容によって企画当日の運営など。

- 企画部署は企画するだけが仕事ではありません。全体の流れをみながら、先を見通し計画を立てる力が必要です。プロジェクトは制作・広報と連携して進めます。

制作部署： リーダー 環境デザイン学科 丸岡

内容

- 広報・企画と連動して、展覧会テーマとイメージを制作を通して広報・展覧会場に徹底的に落とし込みます。
- デザイン・制作チームの運営と実際の空間構成・DM・MAP・看板・プロダクトのデザインと制作・設営までを担当します。

広報部署： リーダー 舞台芸術学科 今野

内容

- 展覧会と芸大の魅力を学内外に広く広報して、多くの人が繰り返し訪れてもらい、活気のある展覧会当日へと導きます。
- 広報戦略と計画（内容/スケジューリング等）広報先へ挨拶/インタビュー等の企画・アポとり/広報先リストアップ。

各部署リーダー、福重・丸岡・今野が部署・卒業制作展運営チームを取りまとめる。
部署の構成員は各コース代議員だけでなく、有志の学生が入りプランニング・制作に携われるようにし、誰でも参加できるオープンなグループを目指している。
（呼びかけは各学科代議員を窓口としている）

- ・ 三回生代議員のかかわりについて
 - ・ 三回生は企画・制作・広報部所へ各一名のリーダーを決める。10月末以降から三回生に作業が移行していくため、三回生リーダーには四回生の活動を知ってもらう。（プランニングに意見を言うことももちろん可能です。）
 - ・ 学際以降、三回生代議員は基本的に全員+有志の学生で設営・制作作業を進める。（制作にいたるまでの、プランニング・デザイン・設計図・運営戦略は四回生が担当する。）
- ・ 大学美術館構想コーディネーター 仲野さん
 - ・ 代表教授会議を下地とする指標をもとに、卒展運営のたたき台を作ります。
 - ・ たたき台は委員会の議事として創意/改良されます。
 - ・ 卒展委員会での決定事項に従い、卒展運営チームのディレクションを行います。

現況報告

3月末からのミーティング・ブレインストーミングをもとに、7月7日に今年度卒業制作展のテーマ（コンセプト文）を決定しました。

これは、全学科4回生から様々な意見を集め、抽出し卒展運営チームのメンバーが最終の決定を行いました。

また、テーマ・運営体制などについて、7月14に行われました「卒展委員会」の先生方と四回生代議員・三回生部署代表で報告会・顔合わせのミーティングを行いました。

現在このテーマをもとに、有志のデザイナーを募集し、2011年度卒業制作展の「トータルデザイン・キャッチコピー」を決定するコンペ・プレゼンイベントを企画しています。（下記に詳細あり）

2011年度卒業制作展 テーマ・コンセプト文

想像してみよう。

家族が増えた日も、あの悲しい朝も私は筆をとっていた。

今、作品の前に立っている。

となりにはたまに見かける他学科の女の子。

その向こうには昨日雑誌で識った批評家、

そして夕べすれ違った彼。

お互い顔も知らない、名前も知らない。

そんな私達を、一人一人の作品でつなげることができたら面白い。

あちこちで、そここで。突発的に、偶発的に。

それはまだ見ぬ遠い誰かにまで広がっていく。

ほんとうなら起こるはずのなかった、

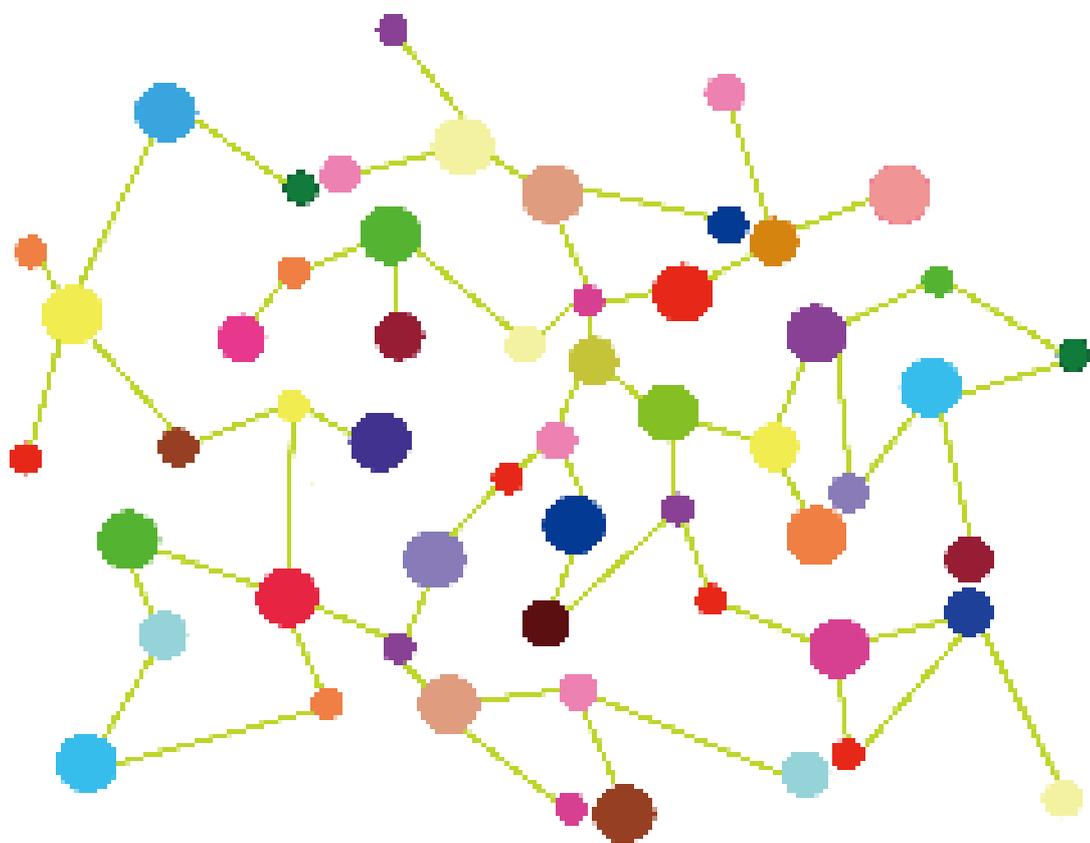
作品との出会いなしにはあり得なかった何かを生み出すチカラ。

ほんとうなら起こるはずのなかった、

作品との出会いなしにはあり得なかった何かを生み出す空間。

想像するだけでワクワクしない？

イメージ



「卒業制作」は大学生生活の終着点でもあり、未来への出発点でもあり、これからの未来への出発点でもある。今まで作品作ってきた中には、必ずしも自分だけの努力だけではなく、日々の何かしらの影響や・人との関係によって場合も多くある。そういった過去の関係、また、卒業制作作品を通して、いろんな人に影響をあたえたり、関係を広げていけたらいいのではないか。そういった、作品と人、人と人がつながる関係性をテーマ文・イメージとした。

2011 年度卒業制作展関連イベント告知

『2011 年度卒業/修了制作展デザインコンペ公開プレゼン「卒展はじめました!」』

・開催日時:2011 年 7 月 29 日 16:00 ~

・開催場所:直心館J41

・対象:大学 3、4 回生、院 2 回生

・ デザインエントリーした学生

高井裕 (情報デザイン学科 4 年生)

鴨田大/長嶺慶治郎 (情報デザイン学科 1 年生)

吉田典世/浅越涼子 (情報デザイン学科 1 年生)

中家寿之/谷口優里香 (情報デザイン学科 4 年生)

/ 飯田喬/津田祐果/藤井良平 (空間デザイン学科 4 年生)

橋本麻里絵/福嶋春香 (情報デザイン学科 4 年生)

・イベントの内容

2011 年度卒業/修了制作展のキャッチコピー、ビジュアルイメージ、さらに会場構成や広報展開へのアイデアを学内から募集したデザイナーにプレゼンしてもらい、大学 3、4 回生と院 2 回生に投票してもらいます。一番票数を得た学生のデザインが、2011 年度の卒業/修了作品展の広報物などに用いられます。

・当日の流れ

デザイナー紹介 プレゼン 質疑応答 投票 開票 投票結果発表

・ 問合せ先:卒展運営チーム広報部署 2011sotuten@gmail.com

今後の予定

>>7 月末まで ・ 署毎の活動開始。部署毎に行う・制作する事柄「アイテム」出し。

>>9 月末まで ・ 各部署それぞれのアイテムだし&決定

・ 企画の中でも広報に UP すべきものは、メディア、体制、情報を確定。

・ 展示場所以外の共有スペースを卒制作品にしたい学生の募集

(方法については今後検討)

>>10 月末まで ・ 具体的な作業内容・デザイン・作業人数・工程スケジュール考える

>>11 月から ・ 三回生に作業を引き継ぎ(四回生主要メンバーは参加)。

・ WEB 広報開始・各部署作業開始。

以降スケジュールは未定。決まり次第報告します。